

第 13 回法人会全国女性フォーラム山梨大会報告書

公益社団法人盛岡法人会女性部会

部会長 守屋 史子

去る 4 月 12 日(木)、「第 13 回法人会全国女性フォーラム」が富士山を望む山梨県甲府市アイメッセ山梨にて、大会スローガン「輝こう！名峰富士のもと～今を創る女性の力」のもと、全国から女性部会員 1,600 名が集結し開催されました。

当部会からは、田口顧問、岩井沢副部会長と私、石亀事務局と 4 名で参加いたしました。会場には、「税に関する絵はがきコンクール」の入賞作品が展示され、29 年度は盛岡市立仙北小学校 6 年 駒林貴葉さんの作品が、全法連女性部会連絡協議会長賞という最高賞を得ており、ひときわ輝いて展示されているように思いながら、作品を鑑賞しました。

第一部記念講演では、山梨県出身の元 NHK エグゼクティブアナウンサー 国井雅比古氏が担当していた「小さな旅」で出会った女性たちの力強い生き様や、趣味のシャンソンを持ち前の魅力ある声で歌っていただくなど、充実した時間を過ごさせていただきました。

第二部式典は、国税庁はじめ山梨県知事、親会会長など多くのご来賓が出席する中、厳粛に行われ、地元の戦国武将武田信玄の「人は石垣、人は城」のとおり私たち女性部会もお互いに交流を深め、法人会活動を通じて、将来を支える子どもたちが適正・公正な税負担のもと、安心して暮らせる日本の未来を切り開いていきたいと思いますとの大会宣言をして、第三部懇親会に移りました。

式典に先立って開催された「情報交換会」では、各県連の女性部会代表者 51 名が 8 グループに分かれ「魅力ある女性部会にするために～女性部会の活性化～」をテーマにディスカッションしました。若い世代をどう取り組むかでは、

- ・若手部会員を積極的に役員に抜擢するなど、後継者を育てるべき
- ・新設法人説明会など、親会の活動に参加し PR の場を増やすべき
- ・講演会や勉強会に知名度の高い講師を招き、一般の方にも参加してもらおう等、全国の法人会女性部会の抱えている問題点について活発に討議しました。様々な事例が発表され、当会での今後の取り組みの参考になる情報交換会であったと思います。

以上